

# ポスター発表プログラム

\* : 若手優秀発表賞応募演題

- P-1\* リードアクロスによるラット反復投与毒性のインシリコ予測手法の提案  
○竹下 潤一<sup>1,2</sup>, 橘内 陽子<sup>2</sup>, 佐々木 崇光<sup>2</sup>, 吉成 浩一<sup>2</sup>  
<sup>1</sup> (国研) 産業技術総合研究所 安全科学研究部門  
<sup>2</sup> 静岡県立大学 薬学部 衛生分子毒性学分野
- P-2\* 機械学習法を利用した化学物質誘発性腎毒性の予測  
○落部 達也, 安部 賀央里, 頭金 正博  
名古屋市立大学大学院 薬学研究科 医薬品安全性評価学分野
- P-3 OECD AOP プロジェクト  
○小島 肇  
国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 安全性予測評価部
- P-4\* 肝発がん物質のラット反復投与による遺伝毒性の有無での肝臓における細胞老化関連代謝分子の発現反応の違い  
○伊藤 優子<sup>1,2</sup>, 中島 康太<sup>1,2</sup>, 増渕 康哲<sup>1,2</sup>, 菊地 聡美<sup>1</sup>, 齋藤 文代<sup>3</sup>, 赤堀 有美<sup>3</sup>, 吉田 敏則<sup>1</sup>, 渋谷 淳<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 東京農工大学 獣医病理学研究室  
<sup>2</sup> 岐阜大学大学院 連合獣医学研究科  
<sup>3</sup> 化学物質評価研究機構
- P-5 Wnt signaling and epithelial-mesenchymal transition pathway network in mesenchymal stem cells and gastric cancer  
○田邊 思帆里<sup>1</sup>, 青柳 一彦<sup>2</sup>, Sabina Quader<sup>3</sup>, 横崎 宏<sup>4</sup>, 佐々木 博己<sup>5</sup>, 広瀬 明彦<sup>1</sup>  
<sup>1</sup> 国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 安全性予測評価部  
<sup>2</sup> 国立がん研究センター研究所 基盤的臨床開発研究コアセンター 臨床ゲノム解析部門  
<sup>3</sup> 公益財団法人 川崎市産業振興財団 医療イノベーションセンター  
<sup>4</sup> 神戸大学大学院医学研究科 病理学講座・病理学分野  
<sup>5</sup> 国立がん研究センター研究所 基盤的臨床開発研究コアセンター 創薬標的・シーム探索部門
- P-6\* 核内受容体 CAR 活性化による肝発がんプロモーションの分子機序解析  
○志津 怜太, 曾部 圭一郎, 阿部 太紀, 石村 麻衣, 保坂 卓臣, 佐々木 崇光, 吉成 浩一  
静岡県立大学 薬学部 衛生分子毒性学分野

- P-7\* 一過性低酸素は薬物によるミトコンドリア透過性遷移を介した細胞死を惹起する  
 ○池山 佑豪, 佐藤 智之, 関根 秀一, 荒川 公一, 伊藤 晃成  
 千葉大学大学院薬学研究院生物薬剤学研究室
- P-8\* イメージング質量分析を用いたヒト肝細胞キメラマウスにおける薬剤性胆汁うっ滞の評価  
 ○田村 優香<sup>1</sup>, 佐能 正剛<sup>1</sup>, 菅原 豪<sup>2</sup>, 吉実 康美<sup>2</sup>, 柳 愛美<sup>2</sup>, 石田 雄二<sup>2,3</sup>, 立野 知世<sup>2,3</sup>, 太田 茂<sup>1,4</sup>, 古武 弥一郎<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>広島大学 大学院医歯薬保健学研究所 生体機能分子動態学研究室  
<sup>2</sup>株式会社フェニックスバイオ  
<sup>3</sup>広島大学 肝臓プロジェクト研究センター  
<sup>4</sup>和歌山県立医科大学
- P-9 ラットへの胆汁酸塩の経口投与による薬剤性肝障害の評価  
 楊 馥華, ○織田 進吾, 横井 毅  
 名古屋大学大学院 医学系研究科 トキシコゲノミクス研究室
- P-10\* キメラ型 HLA 遺伝子導入マウスを用いた高感度な特異体質薬物皮膚毒性評価モデル  
 ○薄田 健史, 青木 重樹, 伊藤 晃成  
 千葉大学大学院 薬学研究院 生物薬剤学研究室
- P-11\* HLA-B\*58:01 を介したオキシプリノールによる特異体質性副作用 *in vitro* 評価系の構築  
 ○槇野 隆太<sup>1</sup>, 長部 誠<sup>2</sup>, 頭金 正博<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>名古屋市立大学大学院 薬学研究科 医薬品安全性評価学分野  
<sup>2</sup>日本薬科大学 薬学科 衛生薬学分野
- P-12\* 日本人 1070 人の全ゲノム解析で同定された 21 種の Dihydropyrimidine dehydrogenase レアバリエント活性変化  
 ○菱沼 英史<sup>1, 2, 3</sup>, 成田 瑤子<sup>1</sup>, 齋藤 さかえ<sup>2</sup>, 前川 正充<sup>4</sup>, 赤井 文香<sup>1</sup>, 中西 悠悦<sup>1</sup>, 安田 純<sup>2</sup>, 長崎 正朗<sup>2</sup>, 山本 雅之<sup>2, 3</sup>, 山口 浩明<sup>4</sup>, 眞野 成康<sup>4</sup>, 平澤 典保<sup>1, 3</sup>, 平塚 真弘<sup>1, 2, 3, 4</sup>  
<sup>1</sup>東北大学大学院 薬学研究科 生活習慣病治療薬学分野  
<sup>2</sup>東北大学東北メディカル・メガバンク機構  
<sup>3</sup>東北大学未来型医療創成センター  
<sup>4</sup>東北大学病院薬剤部

**P-13\* レゴラフェニブ誘発性肝障害に関連する CYP2D6 遺伝子の同定**

○福永 航也<sup>1</sup>, 加藤 健<sup>2</sup>, 奥坂 拓志<sup>3</sup>, 吉田 輝彦<sup>4</sup>, 前佛 均<sup>5</sup>,  
蒔田 泰誠<sup>1</sup>

<sup>1</sup>理化学研究所生命医科学研究センター ファーマコゲノミクス研究チーム

<sup>2</sup>国立がん研究センター中央病院 消化器内科

<sup>3</sup>国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科

<sup>4</sup>国立がん研究センター研究所 基盤的臨床開発研究コアセンター

<sup>5</sup>がん研究会 がんプレシジョン医療研究センター リキッドバイオプシー診断  
開発プロジェクト

**P-14\* Lapatinib による T 細胞分化誘導機構の解析**

○宮路 康平<sup>1</sup>, 岡本 秀人<sup>1</sup>, 榎野 隆太<sup>1</sup>, 長部 誠<sup>2</sup>, 頭金 正博<sup>1</sup>

<sup>1</sup>名古屋市立大学大学院 薬学研究科 医薬品安全性評価学分野

<sup>2</sup>日本薬科大学 薬学科 衛生薬学分野

**P-15\* 腎スライス法を用いた Diclofenac、Diclofenac Acyl Glucuronide の腎蓄積、  
及び代謝・毒性評価**

○根立 志帆, 荒川 大, 久保 光, 中西 猛夫, 玉井 郁巳

金沢大学 医薬保健研究域・薬学系 薬物動態学研究室

**P-16\* シトクロム P450 と UDP-グルクロン酸転移酵素の相互作用による双方向の  
機能制御: in vivo における評価とその毒性学的意義**

○宮内 優<sup>1,2</sup>, 永里 萌<sup>2</sup>, 田中 嘉孝<sup>1</sup>, 永田 清<sup>3</sup>, 山添 康<sup>4</sup>, Mackenzie Peter<sup>5</sup>,  
石井 祐次<sup>2</sup>

<sup>1</sup>九州大学大学院 薬学研究院 細胞生物薬学分野

<sup>2</sup>九州大学大学院 薬学研究院 分子衛生薬学分野

<sup>3</sup>東北医科薬科大学 薬学部 環境衛生学教室

<sup>4</sup>東北大学大学院薬学研究科

<sup>5</sup>フリンダース大学 医学部

**P-17\* 薬物代謝酵素発現酵母を用いた医薬品および食品成分の代謝予測と代謝物  
調製法の確立**

○西川 美宇<sup>1</sup>, 増山 優香<sup>2</sup>, 安田 佳織<sup>1</sup>, 濱田 昌弘<sup>1</sup>, 中島 範行<sup>1</sup>,  
榎 利之<sup>1</sup>, 生城 真一<sup>2</sup>

<sup>1</sup>富山県立大学 工学部 医薬品工学科

<sup>2</sup>富山県立大学 工学部 生物工学科

**P-18\* Phytochemical 及びその抽出物を対象とした in vitro 新規肝臓毒性評価の開  
発**

○前田 美里, 田中 康浩, 堀 妃佐子, 古久保 進

サントリー-MONOUZUKURI エキスパート株式会社

**P-19 ネビラピンの反応性代謝物は inflammasome 反応を活性化させるか  
-ネビラピン誘発肝障害発症機序の検討-**

○加藤 隆児<sup>1</sup>, 井尻 好雄<sup>1</sup>, Jack Uetrecht<sup>2</sup>, 林 哲也<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪薬科大学 循環病態治療学研究室

<sup>2</sup>Faculty of Pharmacy, University of Toronto

**P-20\* Establishment of a novel mouse model of troglitazone-induced liver injury and analysis of its hepatotoxic mechanism**

○Ru Jia<sup>1</sup>, Shingo Oda<sup>1</sup>, Koichi Tsuneyama<sup>2</sup>, Yuya Urano<sup>1</sup>, Tsuyoshi Yokoi<sup>1</sup>

<sup>1</sup>Department of Drug Safety Sciences, Division of Clinical Pharmacology, Nagoya University Graduate School of Medicine

<sup>2</sup>Department of Pathology and Laboratory Medicine, Institute of Biomedical Sciences, Tokushima University Graduate School

**P-21\* 肝細胞障害、胆汁うっ滞および脂肪肝を病型別に早期発見が可能な血漿  
miRNA バイオマーカー探索研究**

○香川 匠, 白井 勇司, 織田 進吾, 横井 毅

名古屋大学大学院 医学系研究科 統合医薬学領域 トキシコゲノミクス

**P-22 バイオ 3D プリンタで作製したヒト肝臓モデルの構築:ヒト凍結初代肝細胞を  
用いた構造体とスフェロイドの毒性評価比較**

○長尾 映里, 鍛冶山 咲良, 溝口 奈津美, 島村 満, 井出 いずみ

株式会社サイフューズ

**P-23\* バイオ 3D プリンタで作製したヒト肝臓モデルの構築:**

**新鮮ヒト肝細胞(キメラマウス由来ヒト肝細胞)を用いた**

**肝臓構造体の毒性評価**

○鍛冶山 咲良, 長尾 映里, 溝口 奈津美, 島村 満, 岸井 保人,

井出 いずみ

株式会社サイフューズ